

総合特別区域評価・調査検討会における評価結果の概要(平成25年度)

2. 分野等別状況 (2)地域活性化総合特区 ⑤農林水産業分野(6/9)

	評価区分(*1)	総合評価 (IとIIの平均値にIIIを加味)	I 目標に向けた取組の進捗に関する評価	II 支援措置の活用と地域独自の取組の状況	III 現地調査時の指摘事項及び対応状況等(*2)	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
次世代型農業生産構造確立特区(山口県等)	正	B 4.1	B 4.1 進捗度 ・農業所得額の増加(※) ・経営の多角化等による新たな雇用の確保 171% 等 (※)は定性的評価	B 4.0 規制の特例等 ・国庫補助事業で整備した施設の財産処分手続きの簡素化 財政支援等 ・国営緊急農地再編整備事業等 地域独自の取組 ・需要対応型産地育成事業(農業機械の大型化や新たな機械導入に対する補助)等	±0	<p>・国営事業による区画整理、再生可能エネルギー導入、六次産業化等の事業はいずれも25年度では整備段階(※1)であり、営農の拡大、農業燃料費節減、農家所得向上といった効果はこれから現れてくると考えられる。</p> <p>・他方、再生エネルギーについては、当てにしていた事業が頓挫し(※2)、この分野での成果が危ぶまれている状況にあるが、他の事業(※3)により、さらに農家の雇用確保に努めることを期待したい。</p> <p>(※1)評価書において、「平成25年度は、全国的な公共事業の増加や7月に発生した災害対応等により、工事着手後重機や作業員の不足による工事遅延が生じるなど、計画的な工事進捗が困難であった。」とされている。</p> <p>(※2)花き園芸用ハウスへの太陽光発電導入にかかる国公募事業(農山漁村活性化再生可能エネルギー事業化推進事業)に落選した。</p> <p>(※3)除草発電シートやマイクロ水力発電、小型木質ペレット加湿器等の導入による光熱動力費の削減が計画されている。</p>

◆評価書は[こちら](#)

◆評価結果は[こちら](#)

*1)「正」とは正評価、「準」とは準評価を意味する。

*2)「III」については、「地方公共団体による総合評価の状況」についても評価している。